

## Ⅲ 普及活動

### 1 美術館セカンドスクール事業「学校美術館」 ぎゅっとつまった美術展 ― 県美の名品アラカルト！

会 期／平成18（2006）年6月23日（金）～7月11日（火）会期中無休  
 会 場／奥田元宋・小由女美術館（三次市東酒屋町453-6）  
 主 催／財団法人奥田元宋・小由女美術館、広島県立美術館  
 後 援／三次市、三次市教育委員会、中国新聞社、  
 三次ケーブルビジョン

入 館 料／一般 800(700)円、高・大学生 400(300)円、中学生以下無料  
 ※（ ）内は20人以上の団体料金。常設展の観覧料を含む。  
 入館者数／11,202人（うち小・中学生251人）（19日間）

奥田元宋・小由女美術館と共同して、学校による美術館の利用を促進し、児童・生徒に美術鑑賞の機会を提供することを主たる目的として開催した。

さらに、事前に実施する「美術作品鑑賞教室」と関連付けて取り組むことにより、学校と美術館及び地域との連携を深め、美術作品鑑賞教育の普及と定着を志向した。

併せて、郷土作家に焦点を当てた展示を行うことにより、県民の身近な芸術家への理解を深め、郷土の芸術・文化への関心と誇りを高めることを期待した。その際、児童・生徒にとって多様な表現・技法・素材の美術作品との出会いの場となるよう配慮し、日本画6点、油彩画13点、水彩画3点、版画17点、彫塑4点、陶磁器7点、計50点の名品を選定して展示した。

（本展担当者：宮本真希子）

#### 関連事業

##### (1) ギャラリーガイド

広島県立美術館友の会ボランティアガイドによる列館解説を会期中の土・日曜日の午前11時及び午後1時30分から開催した。（延6日・12回開催、延185人参加）

##### (2) 作品スケッチ

小・中学生を対象に作品スケッチ（模写）の機会を提供した。7月1日（土）・2日（日）・8日（土）・9日（日）の午後2時～6時まで実施。三次市の絵画グループ・青麦会がボランティアで指導に当たった。（延4日実施、延39人参加、作品数44点）

##### (3) アートカードゲーム

展示作品をカード化したカルタゲームを鑑賞への導入として行った。（延6日実施、延223人参加）

##### (4) 団体学習鑑賞会

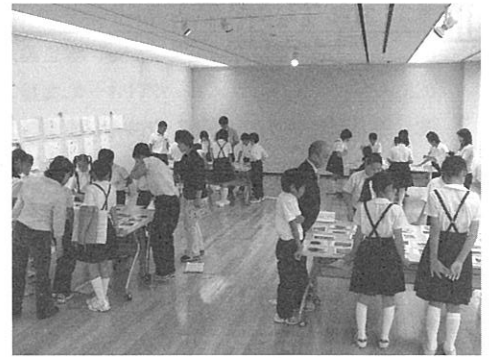
平日の学校による団体利用に対して学芸員が鑑賞会を行った。（小学校1校・児童30人・引率3人参加）

##### (5) 児童・生徒作品展示

本展開催前に展示作品の一部を学校に持ちこんで実施した「美



術作品鑑賞教室」の状況をパネルで報告し、授業で児童・生徒が作成した物語や感想文を展示した。



#### 関連番組

三次ケーブルビジョンローカルニュース（開会式当日及び週末等に繰り返し放映）

#### 関連記事

中国新聞 県北版 6月24日(土)「県立美術館の所蔵品を展示 奥田美術館」

毎日新聞 ひろしま版 6月24日(土)「東郷青児やピカソなど44点 バラエティーな名品を 三次で県美所蔵品を展示」

中国新聞 県北版 7月2日(日)「名画の味・画家の心を模写 奥田美術館 小中生が挑戦」

中国新聞 広場（読者投稿欄）7月4日(火)「美術館 教育にも有効（三次市会社員からの投稿、作品模写に関して）」

#### その他

##### (1) ビデオ上映

広島県立美術館制作のハイビジョン番組から展示内容に関連する「日本画家 平山郁夫」「近代洋画の曙 小林千古」「彫刻家 圓鋳勝三」「河井寛次郎」など8番組を上映した。

##### (2) ワークシート

広島県立美術館の代表的所蔵作品について作成している鑑賞補助教材・ワークシート（和高節二「村の子供」等16作品）を会場内で配布した。